

各地方自治体には、人口減少に歯止めをかけ、地方を活性化する「地方創生」の取組みが求められており、本市では2015年度に、人口の将来展望を示す「郡山市人口ビジョン」と、それに基づいて地方創生の方向性を示す「郡山市総合戦略」を策定しました。

2019年度には、SDGs、気候変動対応、DX(デジタル・トランスフォーメーション)、関係人口の創出、こおりやま広域圏といった新たな動きを踏まえた見直しを行いました。

本計画を推進するにあたり、地方創生に対する市民の皆さまの御意見をお伺いするためアンケートを実施しましたので、その結果についてお知らせします。

(政策開発課)

調査概要

- 調査期間 令和3年10月1日(金)～10月10日(日) (10日間)
- モニター数 360名 (男性 164名 女性 196名)
- 回答者数 332名 (男性 153名 女性 179名)
- 回答率 92.2%

【分析】

＜回答者内訳(人)＞

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	総計
女性	4	11	34	65	43	18	3	1	179
男性	3	6	14	28	35	14	42	11	153
総計	7	17	48	93	78	32	45	12	332

＜郡山市人口ビジョン・総合戦略の認知度＞

- ・77.4%(257人)が「知らない」と回答し、「知っている」と回答した人は4.5%(15人)であった。(問1)

＜郡山市人口ビジョン・総合戦略について＞

- ・総合戦略の中で特に重要だと思う分野は、「子育て支援と女性・子育て世代の活躍推進」41.6%が最も多く、次いで「居場所と役割を持ち生きいき暮らせるまちづくり」31.0%であった。(問4)

- ・PRをするにあたり効果が高いと思う方法は、「市の広報紙」58.4%が最も多く、次いで「テレビ」46.7%、「ソーシャルメディア」36.8%であった。(問5)

＜地方へのひとの流れの創出等の視点で特に重要な取組み(上位2つ)＞(問6)

- 「企業誘致による雇用創出」46.1%、「企業の人材確保に対する支援」36.5%

＜地方創生に資するDXの推進の視点で特に重要な取組み(上位2つ)＞(問7)

- 「オンラインによる各種行政手続き」56.0%、「学校におけるICT活用環境の整備」39.5%

＜地方が牽引する脱炭素社会の実現の視点で特に重要な取組み(上位2つ)＞(問8)

- 「SDGsの理解促進」62.7%、「ごみの減量化の推進」41.6%

【考察】

- ・郡山市人口ビジョン・総合戦略について、77.4%が「知らない」と回答していることから、すべての年代に向け、市の広報紙、テレビ、ソーシャルメディアなど効果的なPRの方法を模索し、周知に努めていく必要がある。

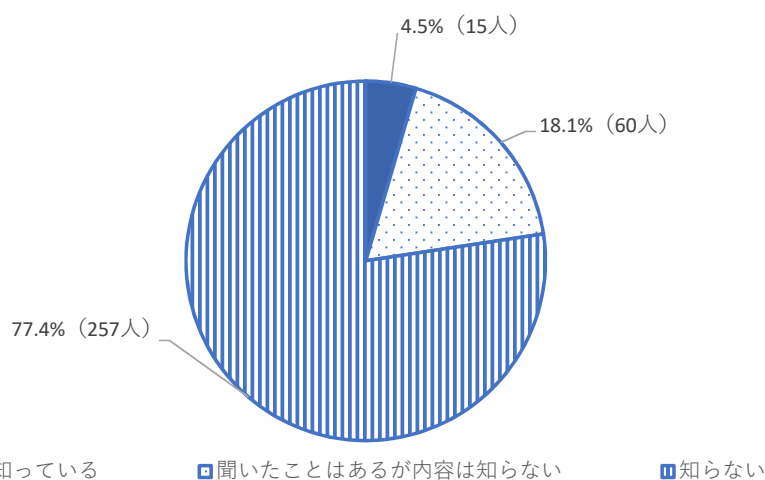
- ・郡山市総合戦略の基本目標で特に重要な分野の取組みとして、「子育て支援と女性・子育て世代の活躍推進」を回答する方が多かったため、今後もこの分野の事業を推進していく必要がある。

- ・地方創生の3つの視点(ヒューマン、デジタル、グリーン)でそれぞれ特に重要な取組みとして、「企業誘致による雇用創出」、「オンラインによる各種行政手続き」、「脱炭素の視点によるSDGsの理解促進」が最も多い回答となっていることから、これらの取組みを効果的に推進していく必要がある。

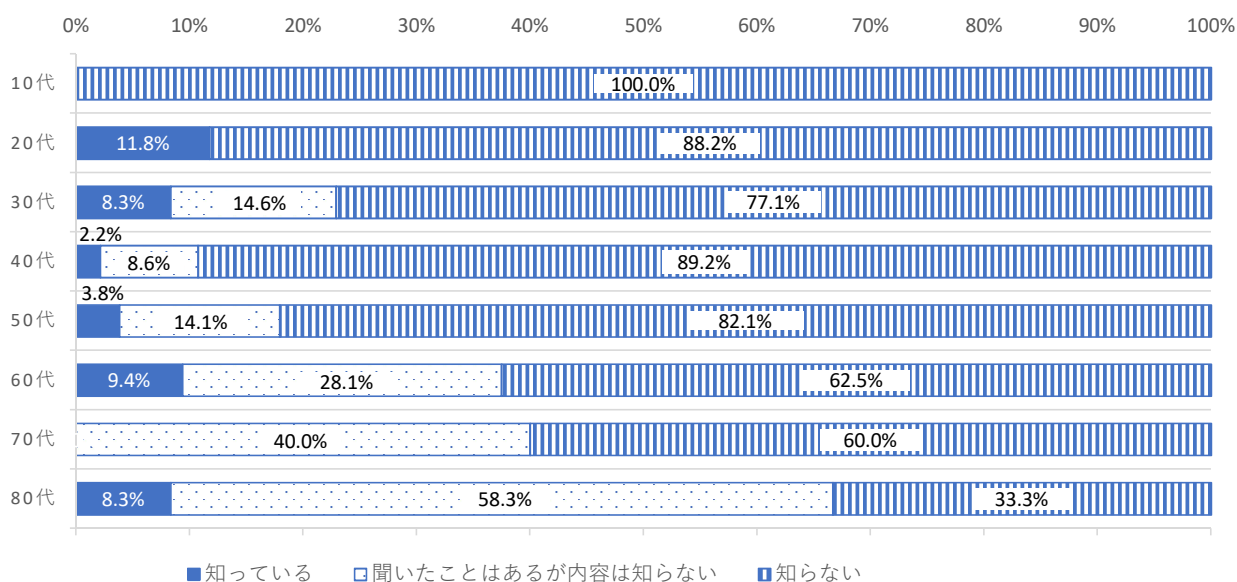
※構成比は、端数を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

問1 「郡山市人口ビジョン・総合戦略」を知っていますか？（1つ選択）

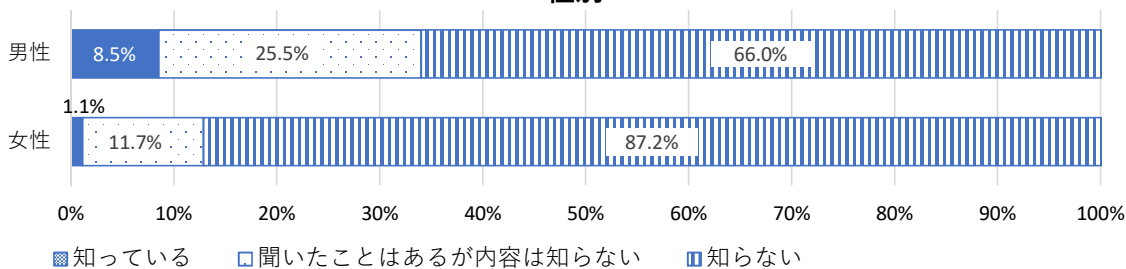
（回答者：332人）



年代別



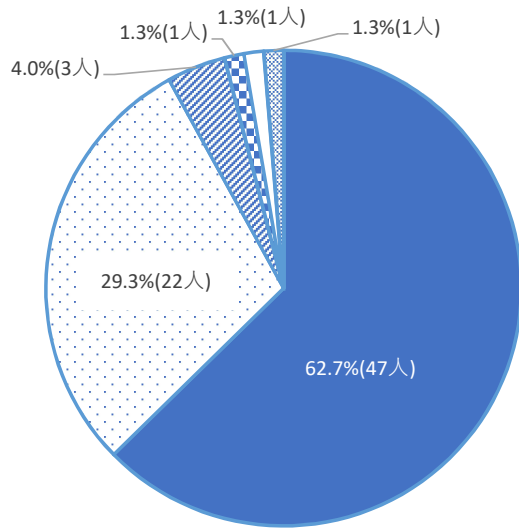
性別



「郡山市人口ビジョン・総合戦略」について「知らない」と回答した方が最も多く77.4%であった。年代別では10代の認知度が最も低く、性別では女性の認知度が男性よりも21.2ポイント低い。

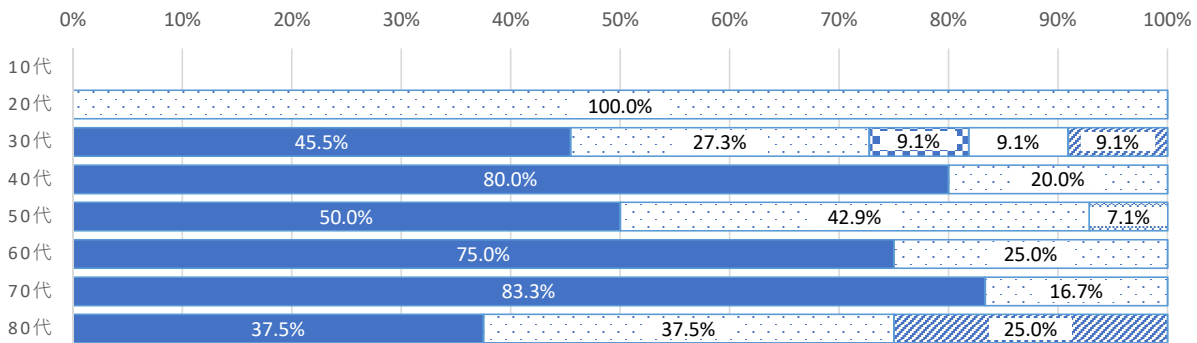
問2 問1で「知っている」または「聞いたことはあるが内容は知らない」を選択した方にお伺いします。「郡山市人口ビジョン・総合戦略」を何で知りましたか？（1つ選択）

（回答者：75人）



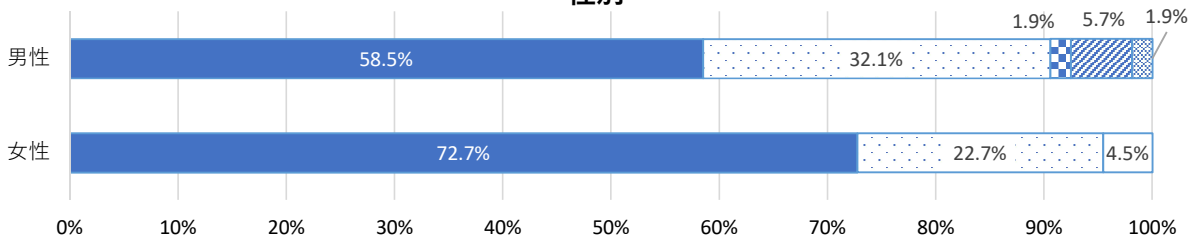
- 市の広報紙
- 市のウェブサイト
- 新聞（紙媒体）
- 市ウェブサイト以外のウェブメディア
- ソーシャルメディア
- 各種イベントでの周知

年代別



- 市の広報紙
- 市のウェブサイト
- 新聞（紙媒体）
- 市ウェブサイト以外のウェブメディア
- ソーシャルメディア
- 各種イベントでの周知

性別



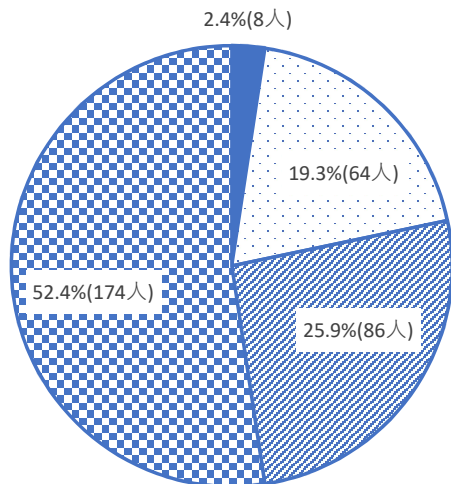
- 市の広報紙
- 市のウェブサイト
- 新聞（紙媒体）
- 市ウェブサイト以外のウェブメディア
- ソーシャルメディア
- 各種イベントでの周知

「郡山市人口ビジョン・総合戦略」を知った媒体として「市の広報紙」と回答した方が最も多く62.7%、次いで「市のウェブサイト」が29.3%であった。

問3 「郡山市総合戦略」では6つの基本目標の各分野の取組みについて、現戦略を策定した2019年度と比較して、どの程度進んでいると感じますか？

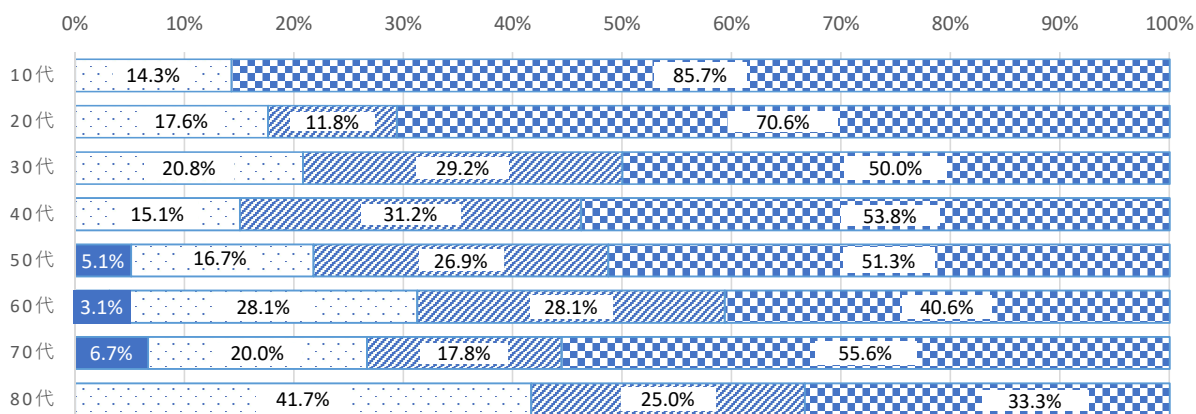
(回答者：332人)

【基本目標1】DX に対応した生産性の向上と魅力ある雇用環境の創出



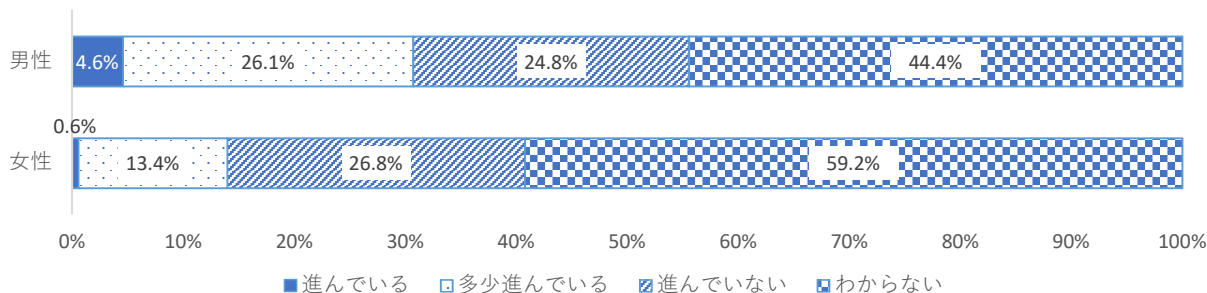
■ 進んでいる ■ 多少進んでいる ■ 進んでいない ■ わからない

年代別



■ 進んでいる ■ 多少進んでいる ■ 進んでいない ■ わからない

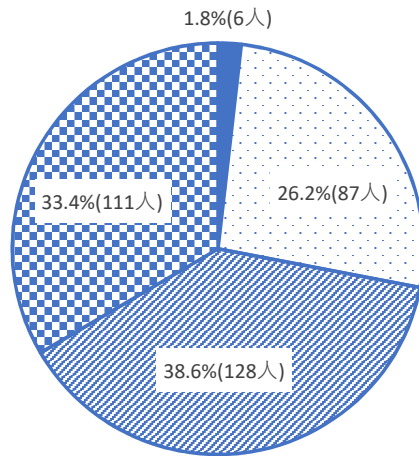
性別



■ 進んでいる ■ 多少進んでいる ■ 進んでいない ■ わからない

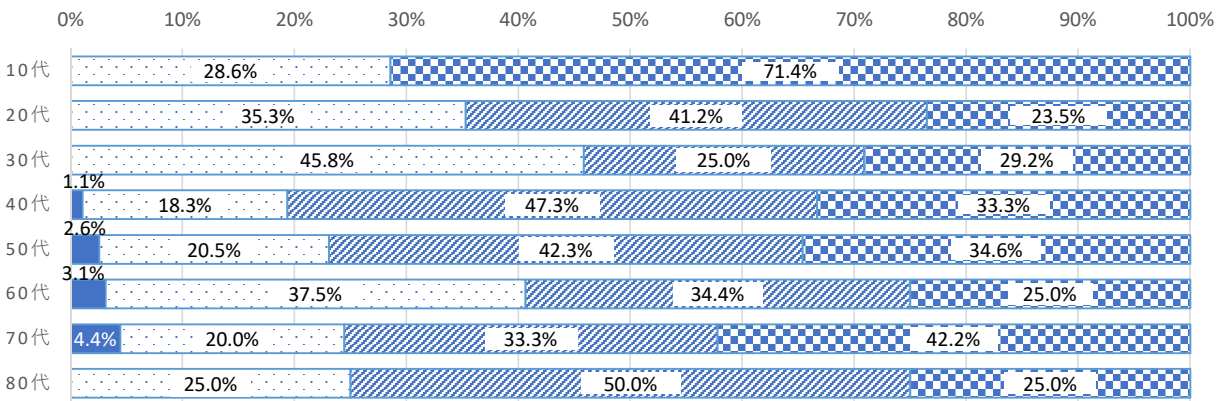
「DX に対応した生産性の向上と魅力ある雇用環境の創出」についての進捗状況は、「わからない」と回答した方が最も多く52.4%であった。

【基本目標2】地域の魅力発信と「関係人口」の創出



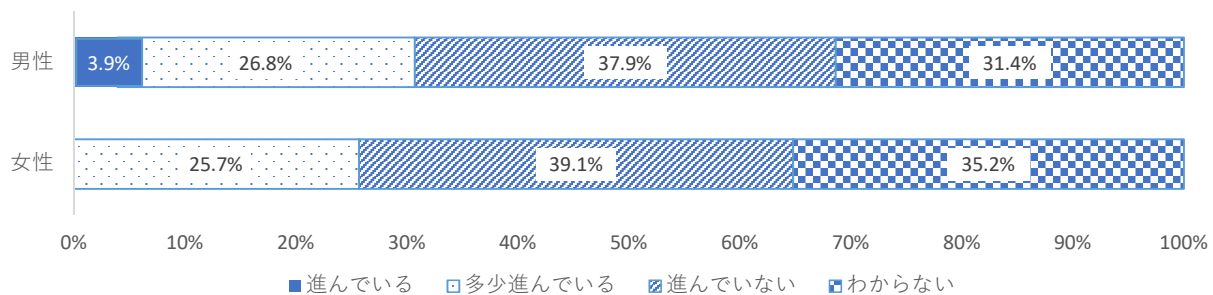
■ 進んでいる □ 多少進んでいる ▨ 進んでいない ▩ わからない

年代別



■ 進んでいる □ 多少進んでいる ▨ 進んでいない ▩ わからない

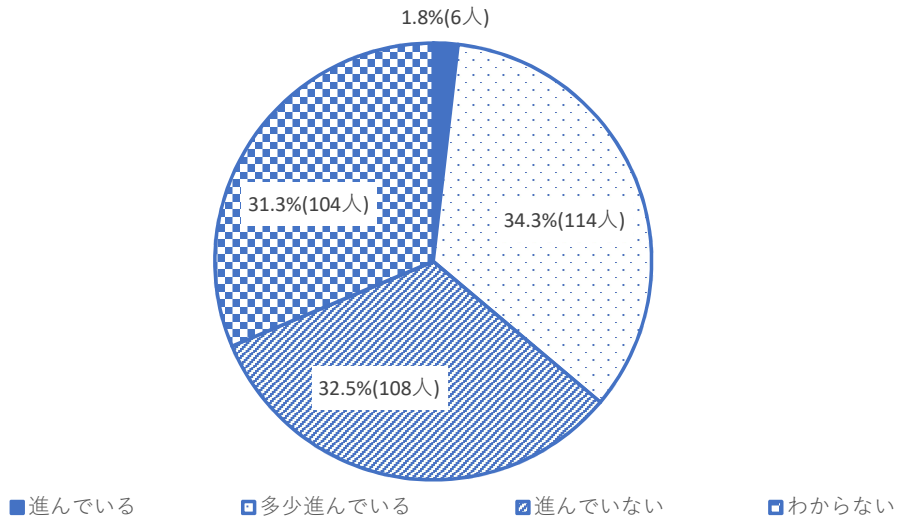
性別



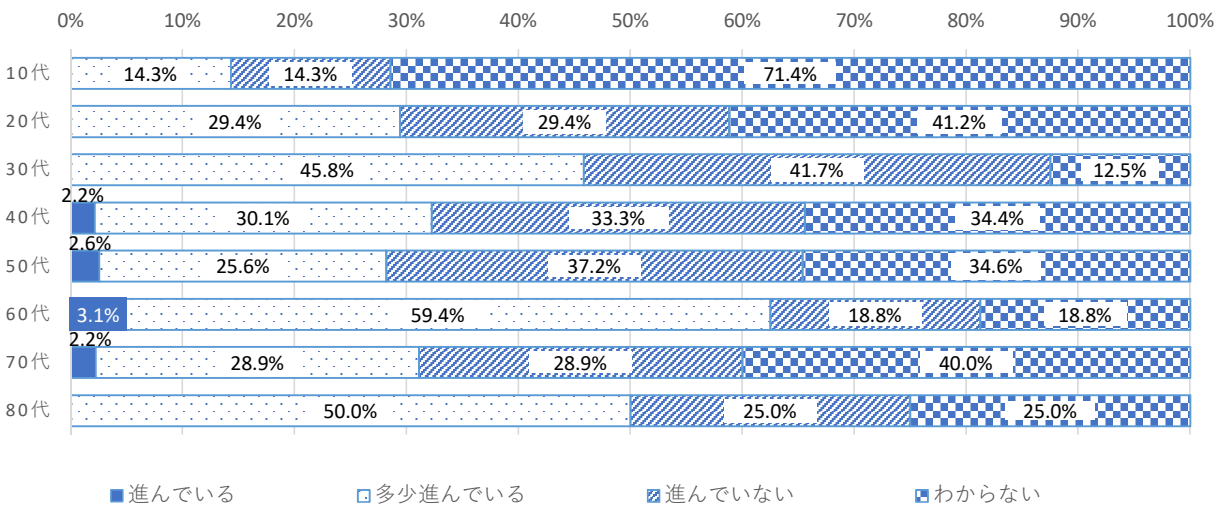
■ 進んでいる □ 多少進んでいる ▨ 進んでいない ▩ わからない

「地域の魅力発信と「関係人口」の創出」についての進捗状況は、「進んでいない」と回答した方が最も多く38.6%であった。

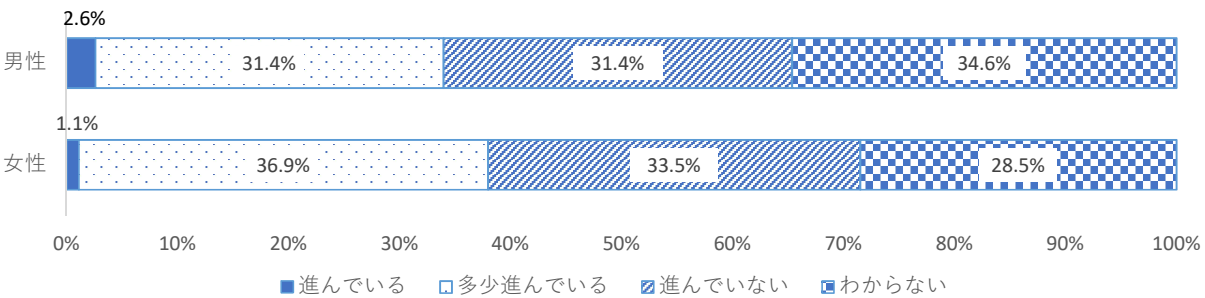
【基本目標3】切れ目無い子育て支援と女性・子育て世代の活躍推進



年代別

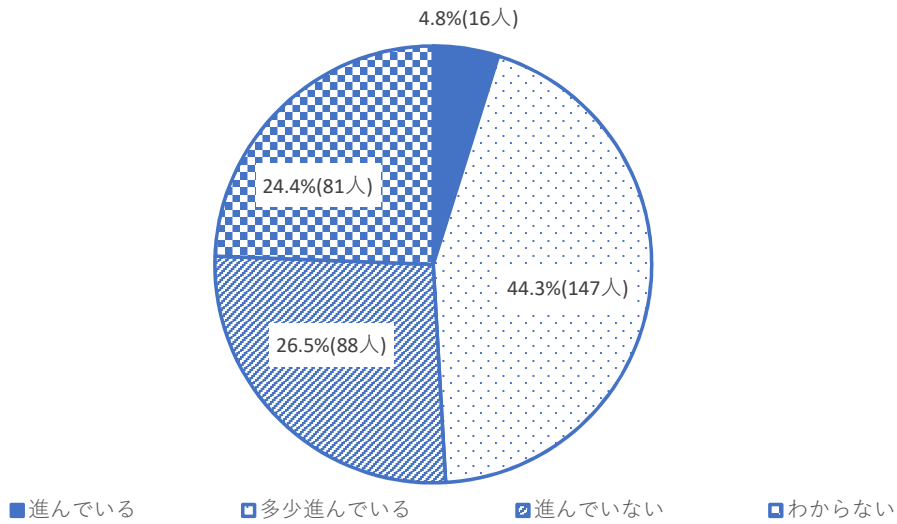


性別

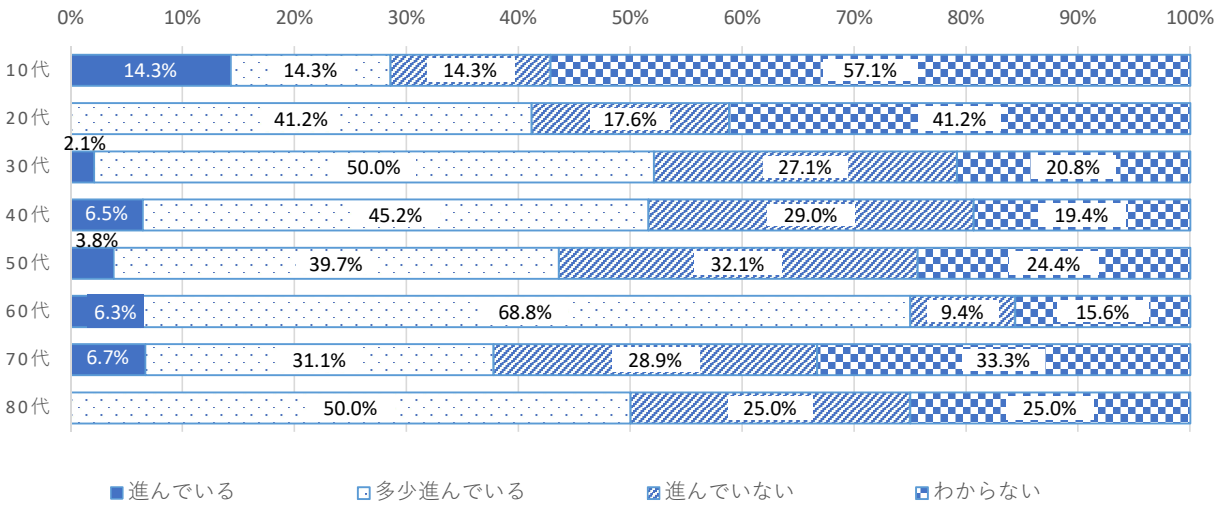


「切れ目無い子育て支援と女性・子育て世代の活躍推進」についての進捗状況は、「多少進んでいる」と回答した方が最も多く34.3%であった。

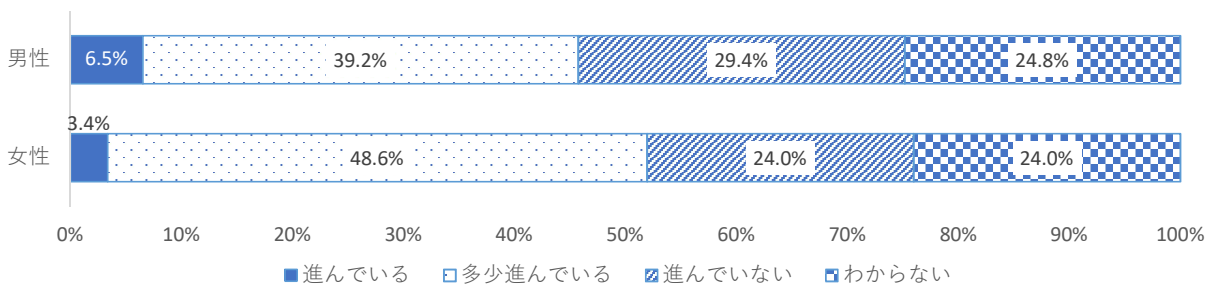
【基本目標4】住民・企業が集う気候変動対応型まちづくりの推進



年代別

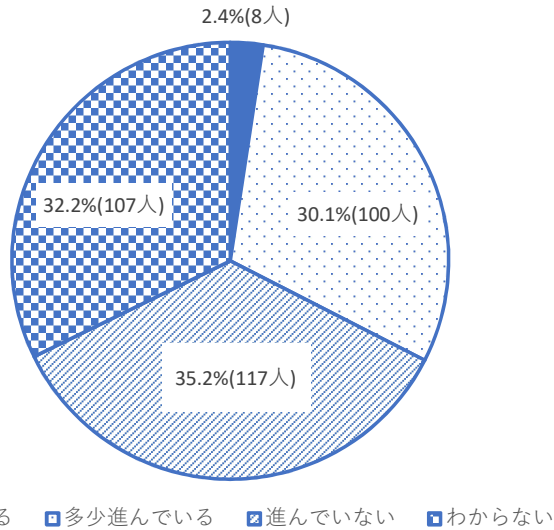


性別

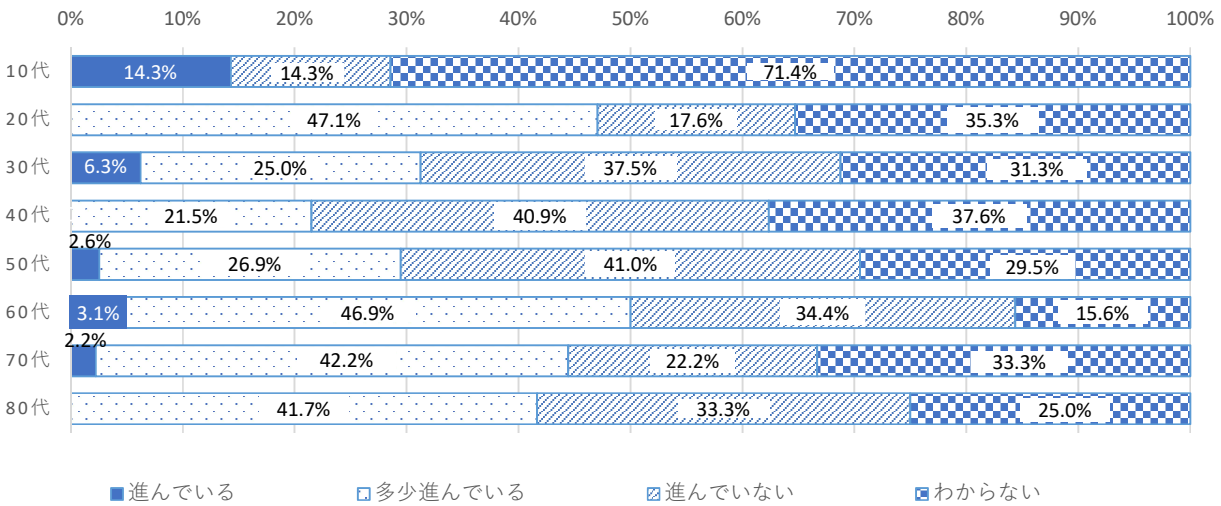


「住民・企業が集う気候変動対応型まちづくりの推進」についての進捗状況は、「多少進んでいる」と回答した方が最も多く44.3%であった。

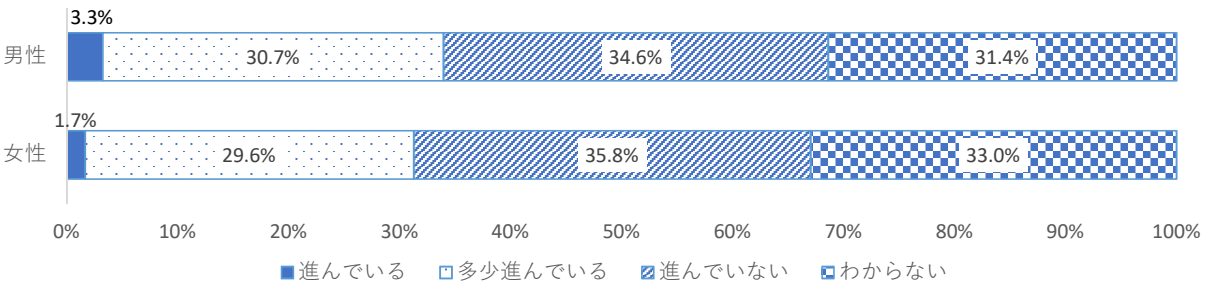
【基本目標5】あらゆる世代が居場所と役割を持ち生きいきと暮らせるまちづくり



年代別

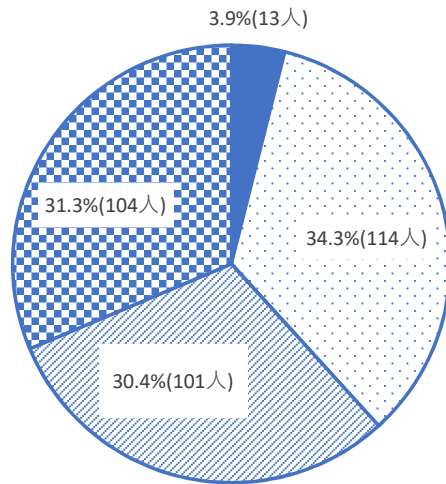


性別



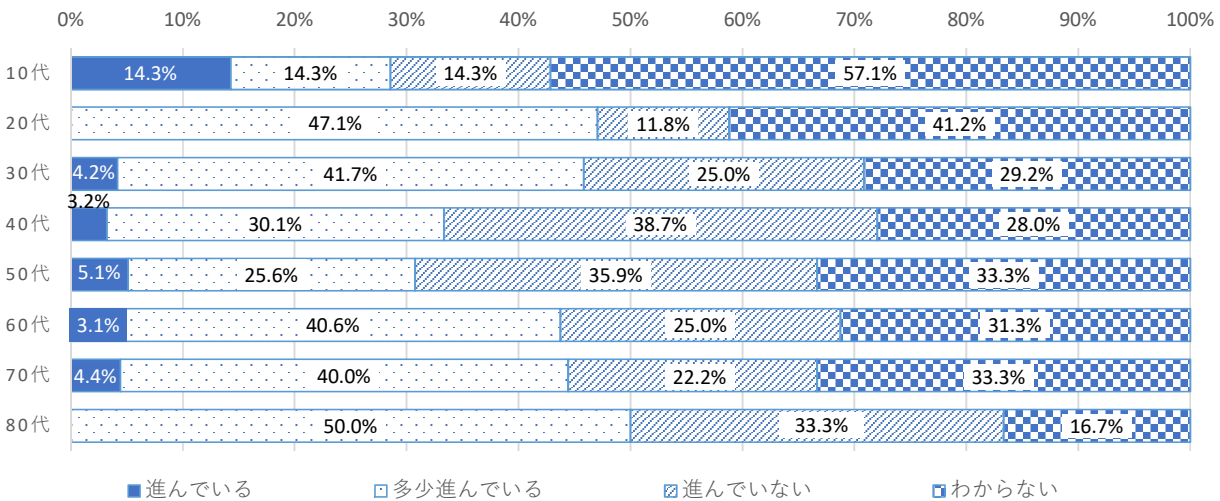
「あらゆる世代が居場所と役割を持ち生きいきと暮らせるまちづくり」についての進捗状況は、「進んでいない」と回答した方が最も多く35.2%であった。

【基本目標6】教育の質の向上と誰もが楽しく学べる環境づくり



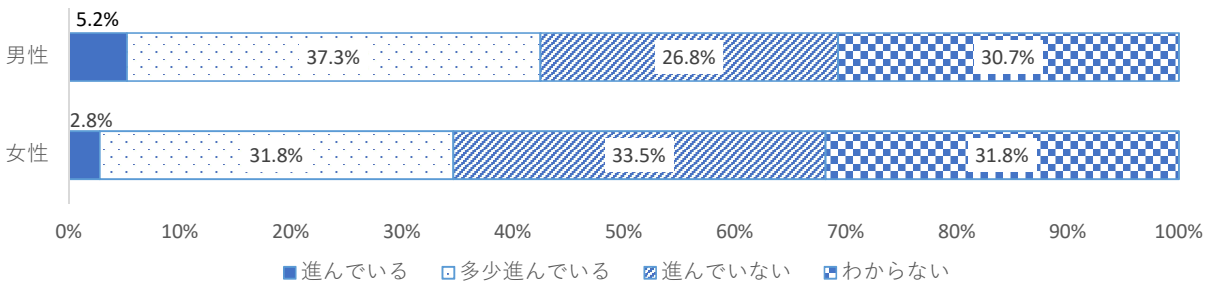
■ 進んでいる □ 多少進んでいる ▨ 進んでいない ■ わからない

年代別



■ 進んでいる □ 多少進んでいる ▨ 進んでいない ■ わからない

性別

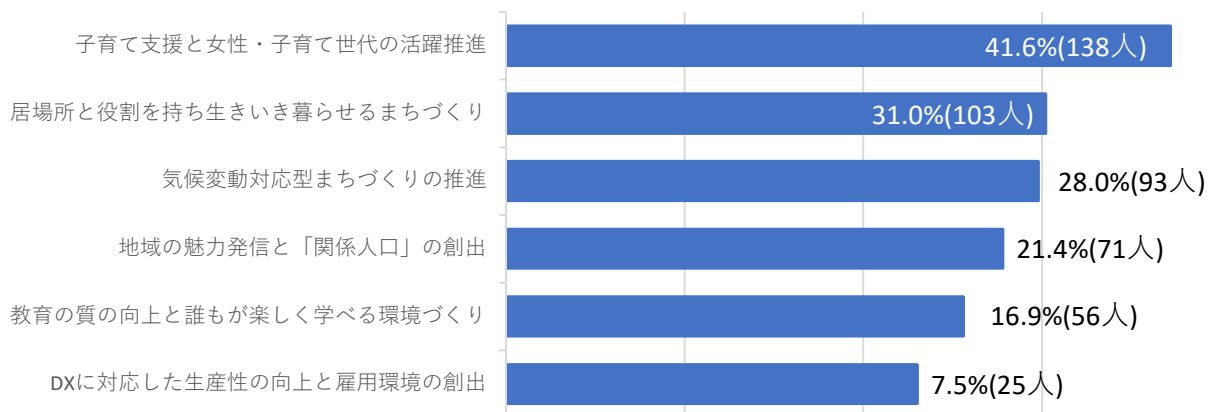


■ 進んでいる □ 多少進んでいる ▨ 進んでいない ■ わからない

「教育の質の向上と誰もが楽しく学べる環境づくり」についての進捗状況は、「多少進んでいる」と回答した方が最も多く34.3%であった。

**問4 6つの基本目標のうち、あなたが特に重要だと思うのはどの分野の取組みですか？
(3つ選択)**

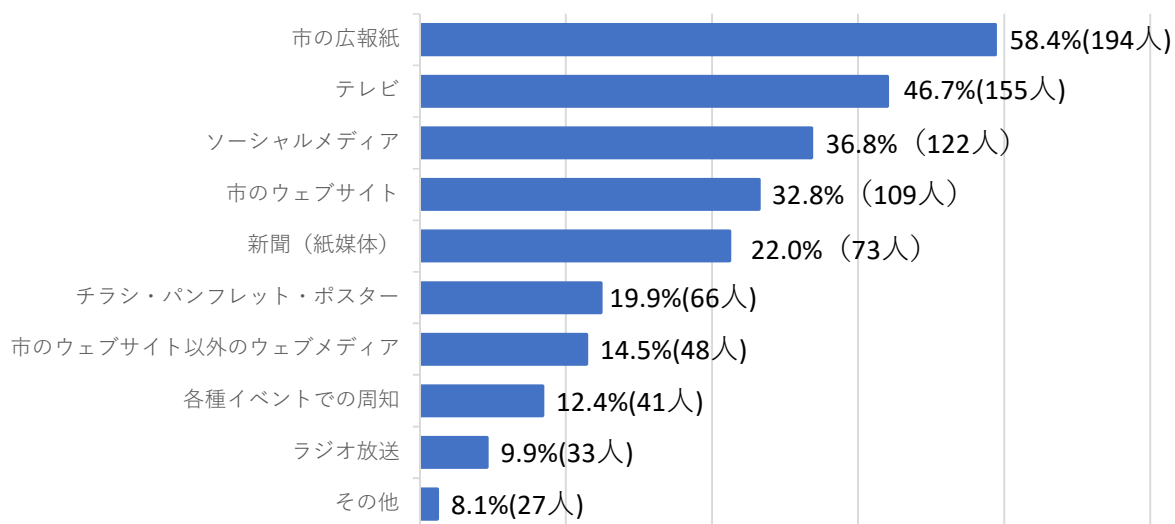
(回答者：332人)



6つの基本目標のうち、特に重要だと思う分野は、「子育て支援と女性・子育て世代の活躍推進」で41.6%であった。

問5 「郡山市人口ビジョン・総合戦略」をPRするにあたり、次のうちどの方法が効果が高いと思いますか？(3つまで選択可)

(回答者：332人)



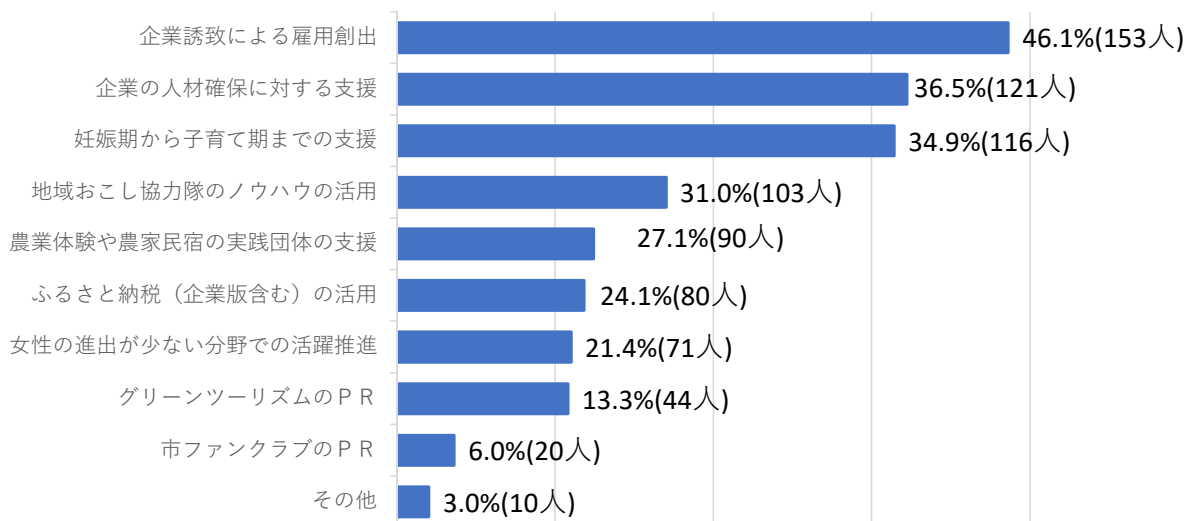
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・小中学校の授業
- ・地域のショッピングセンターやスーパーマーケット、コンビニエンスストアを利用した役所職員による広報活動

「郡山市人口ビジョン・総合戦略」をPRするにあたり効果が高い方法は、「市の広報紙」が最も多く58.4%であった。

問6 ヒューマン（地方へのひとの流れの創出、人材支援）の視点による地方創生について、特に重要だと思うのはどの取組みですか？（3つまで選択可）

（回答者：332人）

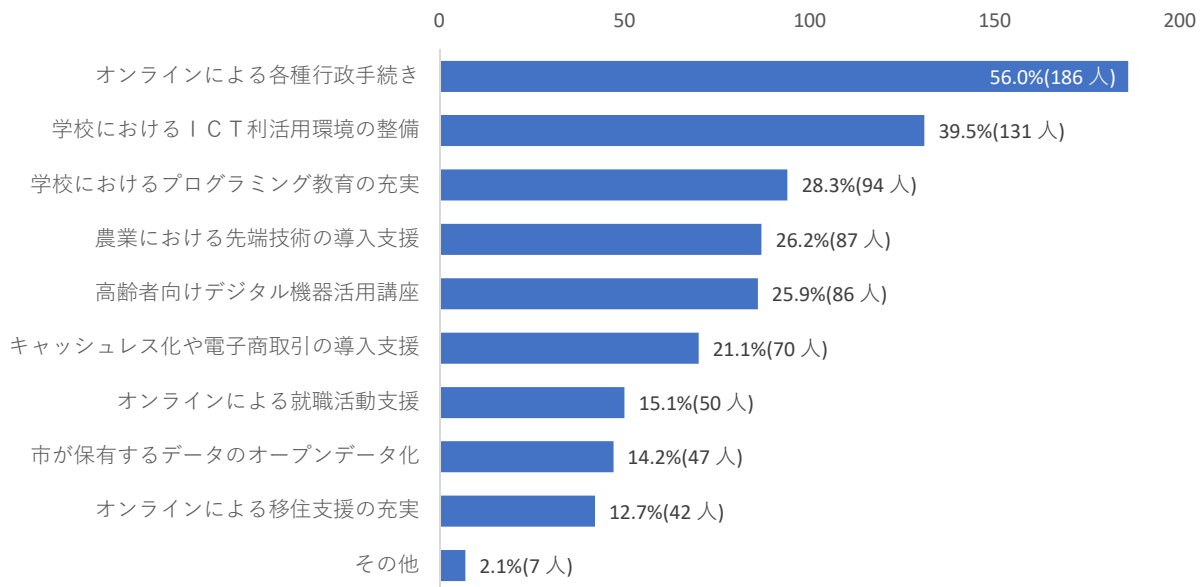


※「その他」を選択した方の主な意見

- ・大学や専門学校などの誘致
- ・永続的に住んでいる住人も楽しめる施設やアトラクション
- ・県庁誘致による行政の集約化

ヒューマン（地方へのひとの流れの創出、人材支援）の視点による地方創生について、特に重要だと思う取組みは、「企業誘致による雇用創出」が最も多く46.1%であった。

問7 デジタル（地方創生に資するDXの推進）の視点による地方創生について、特に重要だと思うのはどの取組みですか？（3つまで選択可）
（回答者：332人）



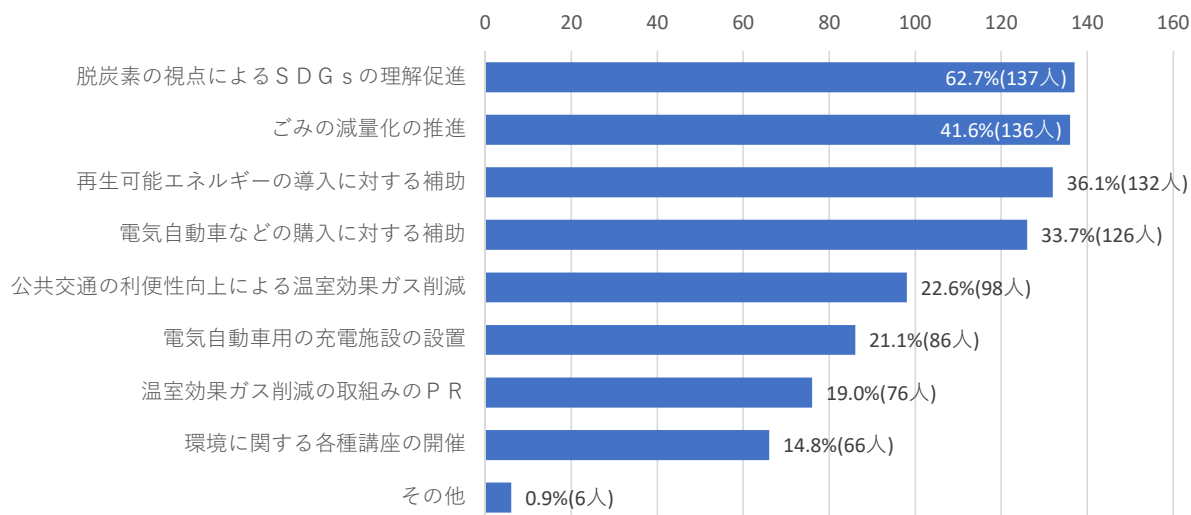
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・リモートワーク需要の取り込み
- ・デジタル機器のレンタル及び無料配布と機能説明の実施
- ・Wi-Fiが面倒でなく安心して十分に使える環境の提供
- ・デジタルで地方創生を考慮すべきではない

デジタル（地方創生に資するDXの推進）の視点による地方創生について、特に重要だと思う取組みは「オンラインによる各種行政手続き」が最も多く56.0%であった。

問8 グリーン（地方が牽引する脱炭素社会の実現）の視点による地方創生について、特に重要だと思うのはどの取組みですか？（3つまで選択可）

（回答者：332人）



※「その他」を選択した方の主な意見

- ・人々に自然を親しませる。小中校生に山野で活動させる。
- ・イーエム菌たい肥やイーエム菌クリーン活動の復活

グリーン（地方が牽引する脱炭素社会の実現）の視点による地方創生について、特に重要だと思う取組みは「脱炭素の視点によるSDGsの理解促進」が最も多く62.7%であった。

問9 最後に、郡山市の地方創生の取組みについて、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。(自由記述)

(回答者：323人)

(主な意見)

■ 地方創生について
・まずは「郡山市の魅力とは何か」を原点に戻って再考し、そこからスタートすべきだと思う。 (80代・男性)
・地方創世のさまざまな取組みもよいが、今暮らしている住民の暮らしやすさや地域共生の取組みなど、まずベーシックな土台をしっかりと作ることが大事なのではと思います。(50代・女性)
・郡山市は、交通の利便性、温暖な気象条件、災害が少ない環境に優れているので、そのところを活かしていけばよいと思います。(60代・男性)
・人口減を容認しての対策を進めること。(80代・男性)
■ 情報発信について
・地方創生については、あまり認知度が低いと思いますので、これから、情報発信を市民に行って欲しいと思います。(50代・男性)
・もっとソーシャルメディアを使った情報発信に力を入れるべきだし、それに対応する人材を育成するか、民間に委託するようにすべきです。(40代・女性)
・若者に興味を持ってもらえる企業誘致と郡山市に来たいと思われる情報発信を続けて行くことが必要かと考えます。県外にいと郡山市の情報を全く聞きませんので、ソーシャルメディアの活用は必要です。(50代・男性)
■ 子育て支援について
・市で取り組むには限界があるが、子育て世代が子どもをたくさん育てる事ができないのは、金銭的負担と、子どもを育てながら働く事が両立できない世の中だからだと思うので、公立の保育園などが充実してくれば、子どもを産み育てる人も増えると思う。(40代・女性)
・子育て世代としては、子育て環境が充実していると有り難いです。保育料金助成などだいぶ環境は良くなったように思います。(40代・女性)
・女性が子育てで仕事を離れ、子育てが落ち着いて仕事をしようとした時のサポートがあるといいなと思います。(30代・女性)
・子どもたちがじっくり考えながら学べ体験できる教育環境作りの促進。さらに特別な支援を必要としている子どもたちの将来に渡る切れ目のない支援環境作りが急務だと考えます。(60代・女性)
■ 経済発展、地域活性化について
・経済の発展のない地方創生は考えにくいです。経済発展に直結する取組みを期待しています。(40代・男性)
・高齢者、妊産婦、子育て世代、どの世代も希望が持てるような支援が必要であり、そのためにも企業が長く存続することが必要だと思います。企業と行政の良い関係づくりができるといいです。(50代・女性)
・切れ目のない企業誘致促進、環境に優しいまちづくりとSDGsの積極的な理解促進、若者と高齢者が交流できる明るいまち、郡山市を目指す。(70代・男性)

・コロナ禍もあり高齢者の生活環境が悪くなっていると感じます。地方創生に高齢者の活躍の場、社会参加の場など生きがいの持てる環境づくりを期待します。(70代・男性)

■ ヒューマン（地方へのひとの流れの創出、人材支援）について

・私自身フリーランスとして仕事をしているため、個人事業でも活躍したい環境が必要になるのではないかと考えています。コロナにより地方移住が普及（多分）してくるかもしれませんが、在宅ワークの促進やコワーキングスペースの増設も検討した方がよいと私は考えています。(20代・男性)

・子どもの流出を防ぐために企業誘致は必要だが、それ以前に大学誘致が望ましいと思う。高校卒業時に進学の実選択肢が少なく市外県外へ流出してしまうため。例えばIT系、看護系、農業系。(40代・男性)

・就職先が首都圏と比べて、実選択肢が少ないので、企業の誘致をもっと積極的に行う必要があると感じます。(20代・男性)

・若者や子育て世代が「定住したい、ここなら定住出来る」と思うような街づくりが必要だと思います。(50代・女性)

■ デジタル（地方創生に資するDXの推進）について

・DXをさらに進め、テレワーク等による働き方改革によって都心からの移住等を喚起するような取り組みが必要だと思います。(60代・男性)

・郡山市は、IT化が少しずつ進んでいるので、これからも情報化社会に特化した都市として、成長して行って欲しいです。(40代・男性)

・少しずつDX化への動きが出ていますがコロナ禍で全国的にオンラインの活用が活発化した状況でさらに加速化していかないと首都圏には敵わなくなってしまうと思います。そこでもう少し色々な挑戦をしていく必要があるのかなと感じます。(30代・女性)

・デジタル化が進んで、情報発信が積極的に行われていると思います。採算が取れない事業は、民間に委託するなど、工夫が必要だと思います。公共の場所などで、フリーWi-Fiを使えるようにして欲しいです。お年寄りでスマホがある方も増えているので、必要だと思います。(50代・女性)

■ グリーン（地方が牽引する脱炭素社会の実現）について

・ごみの排出量が他県に比べて圧倒的に多いと母から聞いたので、ごみを減らす取り組みを増やすといいと思います。(10代・男性)

・草木は燃やすのが一番と考えてる人が多いのかなと思うのですが、それ以外の方法でいい策がないのでしょうか。草木はごみとして燃やして埋め立てるより、空き地にまとめて堆肥に活用出来たり、薪ストーブに使いたい人がいたそちらに回すなどできたら・・・(30代・女性)

・コロナ禍だという中で何もかも停滞するんじゃなくてやれる事は色々あると思う。それとごみ焼却のエネルギーを利用して市にお金が入るように何か利用出来るとよいと思います。(40代・女性)